

特殊切手「伝統色シリーズ 第3集」の発行

日本郵便株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 横山 邦男）は、日本人が四季折々の日常生活の中で継承してきた日本の伝統色を題材とした、特殊切手「伝統色シリーズ 第3集」を発行します。

なお、本シリーズは四季をテーマに発行しており、第3集では「冬」をメインテーマとしています。

1 発行する郵便切手の内容

名 称	伝統色シリーズ 第3集																					
発 行 日	2019年11月6日（水）																					
種 類	63円郵便切手（シール式）	84円郵便切手（シール式）																				
シ ー ト 構 成 ・ 意 匠	<table border="1"> <tr> <td>(1)</td><td>(2)</td><td>(3)</td><td>(4)</td><td>(5)</td> </tr> <tr> <td>(6)</td><td>(7)</td><td>(8)</td><td>(9)</td><td>(10)</td> </tr> </table>	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	<table border="1"> <tr> <td>(1)</td><td>(2)</td><td>(3)</td><td>(4)</td><td>(5)</td> </tr> <tr> <td>(6)</td><td>(7)</td><td>(8)</td><td>(9)</td><td>(10)</td> </tr> </table>	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)																	
(6)	(7)	(8)	(9)	(10)																		
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)																		
(6)	(7)	(8)	(9)	(10)																		
	(1) 深緋 <small>こきひ</small> (2) 鉄黒 <small>てつぐろ</small> (3) 鮭色 <small>さけ</small> (4) 常盤色 <small>とぎわ</small> (5) 橙 色 <small>だいだい</small> (6) 鳥の子色 <small>とりこ</small> (7) 紅海老茶 <small>べにえびちゃ</small> (8) 銀鼠 <small>ぎんねず</small> (9) 丹色 <small>に</small> (10) 雀茶 <small>すずめちゃ</small>	(1) 紅梅色 <small>こうばい</small> (2) 消炭色 <small>けしすみ</small> (3) 人蔘色 <small>にんじん</small> (4) 雪白 <small>せつぱく</small> (5) 小豆色 <small>あずき</small> (6) 煤竹色 <small>すすたけ</small> (7) 白群 <small>びやくぐん</small> (8) 松葉色 <small>まつば</small> (9) 朱色 <small>しゆ</small> (10) 濃卵 <small>こいたまご</small>																				
売 価	630円（シート単位で販売します。）	840円（シート単位で販売します。）																				
小切寸法	縦25.5mm×横21.5mm																					
印面寸法	縦22.5mm×横18.5mm																					
シート寸法	縦67.5mm×横187.0mm																					
助言・監修	一般財団法人 日本色彩研究所																					
切手デザイン	星山 理佳（切手デザイナー）																					
版式刷色	オフセット6色																					
発行枚数	1,500万枚（150万シート）	3,000万枚（300万シート）																				
販売場所	<ul style="list-style-type: none"> ・全国の郵便局など ・「郵便局のネットショップ」^{（注）} ・銀座郵便局での郵便振替による通信販売 																					

2 発行する郵便切手のデザインについて

<63円シート>

- (1) 深緋^{こきひ}
茜^{あかね}で染めた後に紫根^{しこん}(ムラサキソウの根)をかけ合わせた、紫みを帯びた暗い赤です。平安時代における朝廷の決まり事を記した『延喜式』には、紫に次ぐ高位の色と記されています。
- (2) 鉄黒^{てつぐろ}
鉄が酸化されてできる黒い酸化被膜に由来する色名です。この皮膜には錆を防ぐ効果があり、また美観を高める目的でも金属の表面処理に用いられます。
- (3) 鮭色^{さけ}
色名サーモンピンクの日本語訳です。鮭の切り身の色に由来する色名であり、ピンクの中でもオレンジみを帯びたピンクです。
- (4) 常盤色^{とぎわ}
常緑樹の松や杉の葉のような濃い緑色です。一年中、葉を落とすことがないことから、永遠不滅の象徴として縁起のいい色とされています。
- (5) 橙色^{だいたい}
ミカン科の橙の熟した色です。果実は冬に熟しますが木から落ちず、2~3年は枝についています。そこで「代々栄える」という縁起担ぎにより、鏡餅などの正月飾りに添えられます。
- (6) 鳥の子色^{とりこ}
鳥の子といっても、雛の色ではなく卵の殻の色に由来する色です。ごく淡い黄褐色や茶色みがかかった白にあたります。一方「卵色」は卵の黄身の色に由来し、やや赤みを帯びた黄色です。
- (7) 紅海老茶^{べにえびちや}
紅色と海老茶を組み合わせできた、暗い赤茶色を示す色名です。
なお、エビカズラに由来する「葡萄色(えびいろ)」と伊勢海老の色による「海老色」は別の色名ですが、色も近く混同されて使われています。
- (8) 銀鼠^{ぎんねず}
明るい銀のような鼠色のこと。グレイの中で最も明るいのは白鼠で、その次が銀鼠でした。
さらに暗くなると、薄鼠、素鼠、濃鼠^{こねず}、井鼠^{どぶねず}、消炭鼠などと呼ばれました。
- (9) 丹色^に
「丹」は赤土や赤い顔料のことを指す言葉です。赤土の粘土は人類最古の赤い顔料で、赤褐色を表すこの色名も長い歴史を持ちます。なお、丹頂鶴の名は頭頂が赤いことに由来します。
- (10) 雀茶^{すずめちや}
雀の頭の色のような赤黒い茶色をいいます。雀の羽の色に由来する「雀色」は淡く赤みがかっているとされることもありますが、それほど厳密に区別されているわけではありません。

<84 円シート>

(1) 紅梅色^{こうばい}

紅梅の花のような、紫みのある淡い紅色です。梅は「春告草^{はるつげぐさ}」といい、春の始まりを告げる花として古くから親しまれてきました。

(2) 消炭色^{けしすみ}

消炭は、薪や炭などを途中で消して作る炭で、火が着きやすいため焚付に用いられます。墨色のように深い黒ではなく、黒に近い暗い灰色です。

(3) 人参色^{にんじん}

人参の根のようなオレンジ色のこと。英語ではキャロットオレンジといいます。このオレンジ色は栄養素のカロテンの色で、カロテンという名前はキャロットに由来します。

(4) 雪白^{せつぱく}

雪の白さを強調した色名で、正に真っ白ということです。白が無実・無罪を意味することから、雪白は潔白であるという意味で使われます。

(5) 小豆色^{あずき}

小豆の実の色のような暗いくすんだ赤です。赤は古代から魔除け、厄除けの色とみなされ、そのため祝いの席などで赤飯や善哉などを食べる習慣が普及しました。

(6) 燻竹色^{すすたけ}

囲炉裏や竈^{かまど}の煙などに燻^{いぶ}され続け、すすけた色^{すすけた}を帯びた竹の色のような暗い茶褐色。江戸時代は茶色系や鼠色が好まれた時代であり、通人の好む衣装や帯色として流行しました。

(7) 白群^{びやくぐん}

日本画の岩絵の具の色。アズライト（藍銅鉱）を砕いて作られる群青^{ぐんじょう}の粒子をさらに細かく砕いていくと、白っぽくなり、緑みを帯びた水色の白群となります。

(8) 松葉色^{まつば}

松の葉の色のような濃い黄緑色をいいます。松は、古来から神聖な木、長寿や不変のシンボルとして珍重され、松葉色も生命力を表す「おめでたい色」とされました。

(9) 朱色^{しゆ}

烏居の色、朱肉の色など、少し黄みがかかった鮮やかな赤で、赤を代表する色の一つ。朱塗りの漆器の色のことはジャパニーズ・レッドと呼ばれます。

(10) 濃卵^{こいたまご}

染め色の呼び名で、卵の黄身に由来する濃い黄色のことをいいます。卵黄の色は餌に含まれる色素により変化し、色の濃淡は栄養価には関係がありません。

3 その他

[「郵趣のための押印サービス」については別紙1をご参照ください。](#)

日本郵便株式会社銀座郵便局において、通信販売を行います。

[一郵便振替による通信販売の詳細は別紙2をご参照ください。](#)

通信販売についてのお知らせ

■販売業者：販売業者名 日本郵便株式会社

代表者氏名 横山 邦男

住所 〒100-8792

東京都千代田区大手町二丁目3番1号 大手町プレイスウエストタワー

受付窓口 お客様サービス相談センター 電話番号：0120-23-28-86

受付時間 平日 8:00～21:00 / 土・日・休日 9:00～21:00

■支払方法：ゆうちょ銀行の「振替払込書」の払込みによってお支払いいただきます。

■申込期限：2019年12月6日（金）まで。

なお、申込期限前であっても、販売状況により早期に締め切ることがあります。

通信販売のお申込みを早期に締め切る場合は、弊社 Web サイトでお知らせします。

■商品の引渡し時期：

2019年10月23日（水）までにお申込みの場合は、発行日から順次送付します。

2019年10月24日（木）以降にお申込みの場合は、商品到着までに、入金の確認後からおおむね3週間かかる場合があります。

■返品に関する特約：

お届けした切手に^{かし}瑕疵があった場合は、到着後、上記受付窓口にご連絡ください。なお切手の^{かし}瑕疵以外での返品には応じかねます。

■申込締め切り後のご注文に関する返金：

申込締め切り後にご注文をいただいた場合には、商品代金と送料を現金書留郵便物により返金いたします。お申込み時にお支払いいただいた郵便振替手数料につきましては、返金いたしかねますので、ご了承ください。

【お客さまのお問い合わせ先】

お客様サービス相談センター

<電話番号>

フリーコール フォミニハ 86
0120-23-28-86

携帯電話からご利用のお客さま

0570-046-666

（通話料はお客さま負担です。）

<ご案内時間>

平日：8:00～21:00

土・日・休日：9:00～21:00

※おかけ間違いのないようご注意ください。

特殊切手「伝統色シリーズ 第3集」
「郵趣のための押印サービス」

別紙1

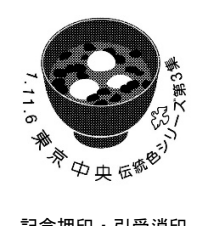









郵趣のための押印サービス

押印には、台紙等に切手を貼付して押印する「記念押印」と、実際に差し出される郵便物に切手を貼付して押印する「引受消印」があります。

押印サービスの実施方法

「郵便窓口」で行うものと郵便により申し込む「郵頼」の二つの方法があり、詳細は次のとおりです。

1 郵便窓口での押印

種類	絵入り（押印機）	絵入り（手押し）	黒活（和文ハト印）	黒活（機械ハト印）	黒活（欧文ハト印）
使用期間	2019（令和元）年 11月6日（水）のみ	2019（令和元）年 11月6日（水）のみ	2019（令和元）年 11月6日（水）のみ		
取扱郵便局	9:00～19:00	9:00～19:00	9:00～12:00		
別表1					
別表2					
別表3					

（注1）「絵入り」とは、絵入りハト印のことです。また、「黒活」とは、和文ハト印、欧文ハト印および機械ハト印の総称です。

（注2）「引受消印」のうち、欧文ハト印および機械ハト印については、外国宛てとする郵便物に対するものに限りません。

（注3）押印見本（イメージ画像）の局名表示、年月日は、それぞれの使用局名、使用年月日に読み替えます。

2 郵頼による押印

(1) 郵頼の意匠等

種類		絵入り	黒活
取扱郵便局	押印方法	お申込期限	
		2019（令和元）年 10月 23日（水）（当日消印有効）	
東京中央郵便局 日本橋郵便局	押印機	 <p>記念押印</p>	 <p>記念押印・引受消印</p>
	手押し	 <p>記念押印・引受消印</p>	 <p>記念押印・引受消印</p>

（注1）「絵入り」とは、絵入りハト印のことです。また、「黒活」とは、和文ハト印、欧文ハト印および機械ハト印の総称です。

（注2）「引受消印」のうち、機械ハト印については、外国宛てとする郵便物に対するものに限りません。

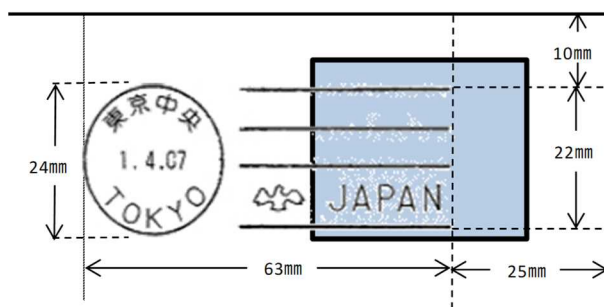
（注3）押印見本（イメージ画像）の局名表示、年月日は、それぞれの使用局名、使用年月日に読み替えます。

(2) お申込み方法

切手の発行ごとに、お申込郵便局を指定させていただきます。所要の郵便切手代金（「普通為替」又は「定額小為替」によること。）を添え、次の要領で「記念押印」、「引受消印」、「手押し」又は「押印機」の各別にお申込みください。シート単位での販売のため、必要となるシート数の代金を添えてお申込みいただく必要がありますので、ご注意ください。

なお、既に発行済みの郵便切手、郵便はがき等を送付し、その郵便切手、郵便はがき等に対しての本件の特殊通信日付印、黒活の郵頼は、受付いたしません。

また、黒活（機械ハト印）による押印において、切手の貼付位置は、印影のかかる位置になるよう指定してください（以下の図参照）。



注：押印位置は封筒等の角から測ったものです。印影が切手に届くように貼付位置を指定してください。

ア 記念押印

郵便切手を貼る位置、郵便切手の意匠（種類）および押印箇所等を指定した封筒、若しくは台紙又はこれに類するもので、材質が紙であるもの（1枚の大きさが23.5cm×12.0cm以内のもの。ただし、切手シートのまま押印を希望される場合は、22.9cm×16.2cm以上、33.2cm×24.0cm以内のものとしてください。）および返信用封筒（返送先を明記し、必要な郵便切手を貼り付けたもの）を送付してください。

今回はシール式のため、1シートの重さは3.12gとなります。返信用封筒の郵便料金にご注意ください。

押印機による押印については、押印箇所が光沢紙などのように表面に特殊加工がされていない材質の紙とするようにしてください。

なお、お申込封筒の表面左横には、それぞれ次のとおり朱書きしてください。

(ア) 手押しによる押印(東京中央郵便局のもの)…「伝統色3集・手押し(東京中央局)」
(イ) 押印機による押印(東京中央郵便局のもの)…「伝統色3集・押印機(東京中央局)」
(ウ) 手押しによる押印(日本橋郵便局のもの)…「伝統色3集・手押し(日本橋局)」
(エ) 押印機による押印(日本橋郵便局のもの)…「伝統色3集・押印機(日本橋局)」

イ 引受消印

郵便切手の意匠（種類）を指定の上、宛名を明記した定形郵便物の大きさの封筒又は私製葉書を送付してください。

なお、残りの切手シートは返送しますので、返信用封筒（返送先を明記し、必要な郵便切手を貼り付けたもの）を同封してください。（1シートの重さは3.12gとなります。）

なお、お申込み封筒の表面左横には、それぞれ次のとおり朱書きしてください。

(ア) 東京中央郵便局のもの…「伝統色3集・引受(東京中央局)」
(イ) 日本橋郵便局のもの…「伝統色3集・引受(日本橋局)」

ウ お申込先(郵頼指定局)

取扱郵便局	押印方法	申込先
東京中央郵便局	手押し	〒100-8994 東京都千代田区丸の内2-7-2 東京中央郵便局 「伝統色3集・手押し(東京中央局)」郵頼担当係
	押印機	〒100-8994 東京都千代田区丸の内2-7-2 東京中央郵便局 「伝統色3集・押印機(東京中央局)」郵頼担当係
日本橋郵便局	手押し	【日本橋郵便局名によるもの】 〒100-8799 東京都中央区銀座8-20-26 銀座郵便局気付 日本橋郵便局 「伝統色3集・手押し(日本橋局)」郵頼担当係
	押印機	【日本橋郵便局名によるもの】 〒100-8799 東京都中央区銀座8-20-26 銀座郵便局気付 日本橋郵便局 「伝統色3集・押印機(日本橋局)」郵頼担当係

エ お申込期限

2019(令和元)年10月23日(水)(当日消印有効)

オ ご連絡先の記載

郵頼に関する確認のご連絡をさせていただく場合がございますので、お申込封筒にご連絡先の電話番号を記載してください。

別表1 絵入りハト印(手押し、押印機とも)、和文ハト印および機械ハト印

地方別	郵便局名
北海道	札幌中央
東北	仙台中央
南関東	横浜中央
東京	東京中央(注1)、日本橋(注2)
信越	長野中央
東海	名古屋中央(注3)
近畿	大阪中央
九州	福岡中央

(注1) 切手発行日の東京中央郵便局における押印は、東京中央郵便局窓口等では行わず京橋郵便局内に東京中央郵便局の記念押印特設会場を開設して実施します(局名表示は「東京中央」です。)

(注2) 日本橋局で使用する絵入りハト印(手押し、押印機とも)の局名表示は「日本橋」です。

(注3) 切手発行日の名古屋中央郵便局における押印は、名古屋中央郵便局窓口等では行わず名古屋柳橋郵便局隣接の会議施設において名古屋中央郵便局の記念押印特設会場を開設して実施します。

別表2 絵入りハト印(手押し)、和文ハト印および機械ハト印

地方別	郵便局名
信越	新潟中央
北陸	金沢中央
東海	岐阜中央
近畿	京都中央および神戸中央
中国	広島中央および岡山中央
四国	松山中央
九州	鹿児島中央
沖縄	那覇中央

別表3 絵入りハト印(手押し)、和文ハト印および欧文ハト印

地方別	郵便局名
北海道	旭川中央、函館中央および釧路中央
東北	青森中央、盛岡中央、秋田中央、山形中央および福島中央
関東	水戸中央、宇都宮中央、前橋中央、さいたま中央および千葉中央
南関東	甲府中央
東京	神田、京橋、芝、上野、渋谷および新宿
北陸	富山中央および福井中央
東海	静岡中央および津中央
近畿	大津中央、大阪東、奈良中央および和歌山中央
中国	鳥取中央、松江中央、福山および山口中央
四国	徳島中央、高松中央および高知中央
九州	北九州中央、長崎中央、佐賀中央、大分中央、熊本中央および宮崎中央

通信販売の実施

種 類	申込略称	申込限度	申込期限
伝統色シリーズ 第3集 (63円)	伝統色3 63	シート単位で 20シートまで	2019年12月6日 (金)

種 類	申込略称	申込限度	申込期限
伝統色シリーズ 第3集 (84円)	伝統色3 84	シート単位で 20シートまで	2019年12月6日 (金)

種 類	申込略称	申込限度	申込期限
伝統色シリーズ 第3集 63円・84円 セット	伝統色3セット	10セットまで	2019年12月6日 (金)

* 伝統色シリーズ第3集 63円・84円セットは、「伝統色シリーズ第3集」63円、84円、各1シート of セットです。

申込数量別送金額は下表のとおりです。

申込数量 (シート)	切手代金 (円)	送 料 (円)	合 計 (円)
1	630	440	1,070
2	1,260	440	1,700
3	1,890	440	2,330
4	2,520	440	2,960
5	3,150	460	3,610
6	3,780	460	4,240
7	4,410	460	4,870
8	5,040	460	5,500
9	5,670	460	6,130
10	6,300	460	6,760
11	6,930	460	7,390
12	7,560	460	8,020
13	8,190	460	8,650
14	8,820	460	9,280
15	9,450	460	9,910
16	10,080	460	10,540
17	10,710	460	11,170
18	11,340	460	11,800
19	11,970	460	12,430
20	12,600	460	13,060

申込数量別送金額は下表のとおりです。

申込数量 (シート)	切手代金 (円)	送 料 (円)	合 計 (円)
1	840	440	1,280
2	1,680	440	2,120
3	2,520	440	2,960
4	3,360	440	3,800
5	4,200	460	4,660
6	5,040	460	5,500
7	5,880	460	6,340
8	6,720	460	7,180
9	7,560	460	8,020
10	8,400	460	8,860
11	9,240	460	9,700
12	10,080	460	10,540
13	10,920	460	11,380
14	11,760	460	12,220
15	12,600	460	13,060
16	13,440	460	13,900
17	14,280	460	14,740
18	15,120	460	15,580
19	15,960	460	16,420
20	16,800	460	17,260

申込数量別送金額は下表のとおりです。

申込数量 (セット)	切手代金 (円)	送 料 (円)	合 計 (円)
1	1,470	440	1,910
2	2,940	440	3,380
3	4,410	460	4,870
4	5,880	460	6,340
5	7,350	460	7,810
6	8,820	460	9,280
7	10,290	460	10,750
8	11,760	460	12,220
9	13,230	460	13,690
10	14,700	460	15,160

<通信販売振込先>

口座番号:00140-3-95471 / 加入者名:一般通販係

※ 払込取扱票には、住所・氏名・電話番号・お申し込みいただく切手等の名称(申込略称)・注文数・送金額(切手等代金+郵送料)を明記ください。